様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2025年　5月　1日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　福岡県福岡市博多区博多駅前1-19-3
氏　名　東興ジオテック株式会社 九州支店
執行役員支店長　涌嶋　弘志
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　092-441-7326

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	松島火力発電所　事務所他撤去工事
事業場の所在地	長崎県西海市大瀬戸町松島内郷
計画期間	2023年11月10日　～　2025年2月28日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	請負金額　261,700,000円
③従業員数	4名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	東興ジオテック㈱→収集運搬業者へ委託→処分業者へ委託→最終処分場

（日本産業規格　A列４番）

受付
-7.5.02
資源循環推進課

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
（管理体制図） J-POWERジェネレーションサービス㈱ ↓ 東興ジオテック株式会社　⇒　搬出から最終処分まで管理 ↓ 株式会社西菱環境開発（一次下請業者） 前川工建株式会社　（　〃　）			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①　現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	
	全処理委託量	6,814 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	6,814 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートがら</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

民間工事で工期2025年2月28日で終了のため 今後の排出予定はありません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和７年　　月　　日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　西彼杵郡時津町浦郷２７４番地１
氏　名　時津町長　山　上　広　信
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０９５－８８２－２５３８

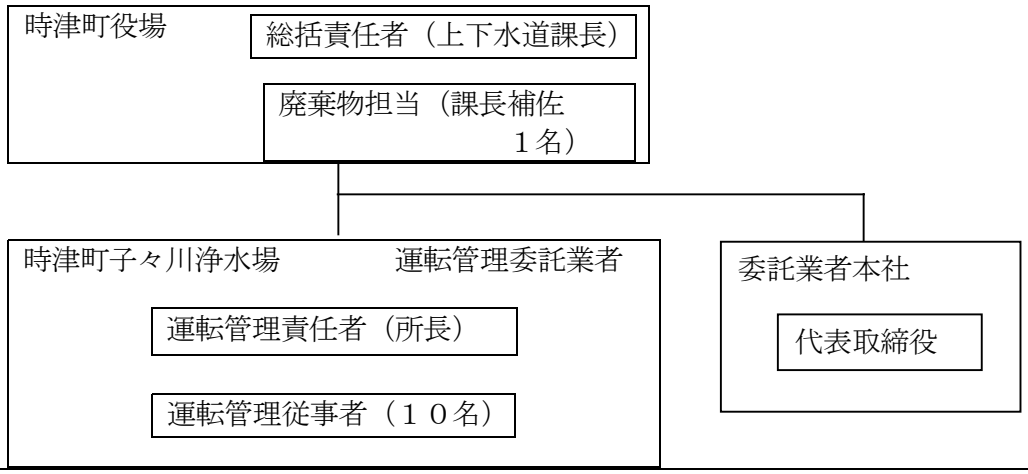
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	時津町　子々川浄水場
事業場の所在地	西彼杵郡時津町子々川郷１７４０番地
計画期間	令和　７年　４月　１日　～　令和　８年　３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	上水道事業（浄水場）
②事業の規模	浄水量（取水量）８，３４６㎥／日（平均）
③従業員数	浄水場従事職員　１０名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	浄水場処理工程： 取水→子々川浄水場着水→沈澱池→排泥池→濃縮槽→貯留槽→天日乾燥床（汚泥脱水及び乾燥） 汚泥搬出及び処理委託 天日乾燥床処理後委託業者へ汚泥搬出→中間処理→運搬→最終処分

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	
	排　　出　　量	１５８０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 上水汚泥の元となる濁度の高い原水の取水を抑制し、濁度が低い原水を取水し排出の抑制に努めている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	
	排　　出　　量	１４７０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 今後も従来同様に濁度が低い原水を優先的に取水し、減量化に努めたい。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>上水汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>１２８５ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
天日乾燥工程において、効率がよい夏場に多くの搬出させ、全体量の減量化を図った。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>上水汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>１２５０ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も上水汚泥の天日乾燥減量化は、冬季については汚泥含水率が低下しないことから、乾燥期間を夏場に重点的にシフトするように運転管理の調整を実施する</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	
	全処理委託量	２９５ｔ	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	２９５ｔ	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>上水汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>２３０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>２３０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
効率的な固液分離によって、天日乾燥汚泥の含水率を低下させ、委託処分量の減量化に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和７年５月１６日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　西彼杵郡時津町浦郷２７４番地１

氏　名　時津町長　山　上　広　信
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号０９５－８８２－２５３８（直通）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

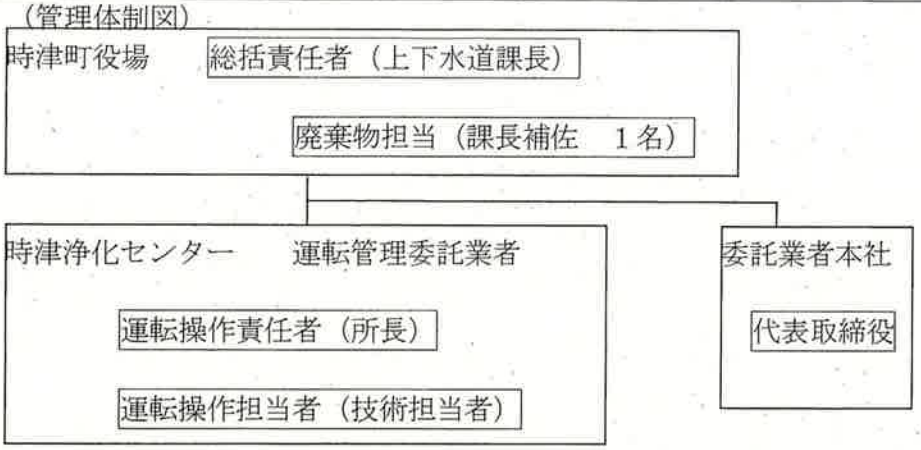
事業場の名称	時津浄化センター
事業場の所在地	西彼杵郡時津町久留里郷１４４１番地
計画期間	令和７年４月１日～　令和８年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	下水処理場
②事業の規模	流入水量　８，９５４㎥/日（平均）
③従業員数	浄化センター従事職員１５名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本工業規格　A列４番）

受付
-7.5.19
資源循環推進課

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排　出　量	１６５，２２５ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 初沈汚泥は重力濃縮、余剰汚泥は機械濃縮を行いそれぞれの汚泥の濃縮濃度を上げ減量化に努めた。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排　出　量	１６４，５０４ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 流入水量もやや安定してきているなか、今後も前年度同様にさらなる減量化に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	１６３，３１７ｔ	t
	（これまでに実施した取組） 濃縮性が高い薬品を使用し減量化に努めている。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	１６２，６０８ｔ	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も前年度同様に減量化に努める。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
	全処理委託量	１，９０８ｔ	ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	再生利用業者への処理委託量	１，９０８ｔ	ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 収集処分まで的確に確認し管理を行った。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
		全処理委託量	１，９００ｔ	ｔ
		優良認定処理業者への処理委託量	ｔ	ｔ
		再生利用業者への処理委託量	１，９００ｔ	ｔ
		認定熱回収業者への処理委託量	ｔ	ｔ
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ	ｔ
		（今後実施する予定の取組） 施設の改築更新を計画的に進めるなか、脱水設備等の適切な管理によって、少しでも最終委託量を減量化できるよう努めたい。		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

令和７年　月　日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　長崎県諫早市永昌東町25－8
氏　名　長崎県県央振興局
局長　大塚　英樹
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　0957-22-0010

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大村湾南部浄化センター
事業場の所在地	諫早市貝津町1410番地
計画期間	令和７年４月１日から令和８年３月３１日

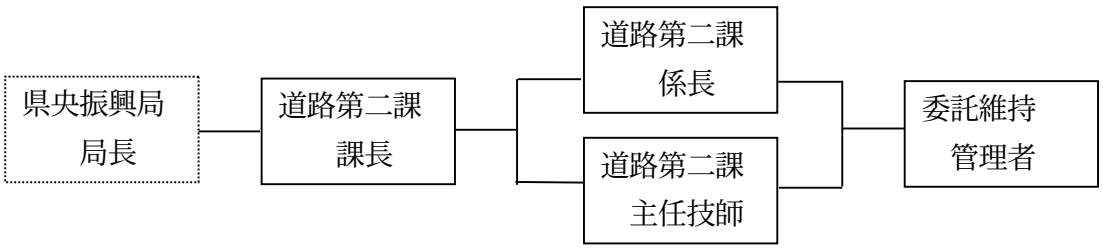
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	36　水道業
②事業の規模	下水道計画面積　1,653ha　下水道計画人口　42,430人
③従業員数	受託者19人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	【有機物汚泥】 産業廃棄物搬出⇒収集運搬⇒堆肥化施設⇒製品 【し渣・沈砂】 産業廃棄物搬出⇒収集運搬⇒焼却炉施設⇒製品

(日本産業規格　A列４番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機物汚泥	し渣・沈砂
	排　　出　　量	35,004ｔ	9ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機物汚泥	し渣・沈砂
	排　　出　　量	39,611ｔ	10ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>有機物汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>32,046 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>有機物汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>36,264 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

（第４面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>有機物汚泥</td><td>し渣・沈砂</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>2,957.68ｔ</td><td>9.0ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>2,957.68ｔ</td><td>9.0ｔ</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>有機物汚泥</td><td>し渣・沈砂</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>3,347ｔ</td><td>10ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>3,347ｔ</td><td>10ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7年　6月 23日

長崎県知事　　大石　賢吾　殿

提出者　〒850-8685
住　所　長崎市魚の町4-1
氏　名　長崎市上下水道事業管理者
　　上下水道局長　片江　伸一郎
（担当：浄水課浄水施設係 TEL 095-829-1213）

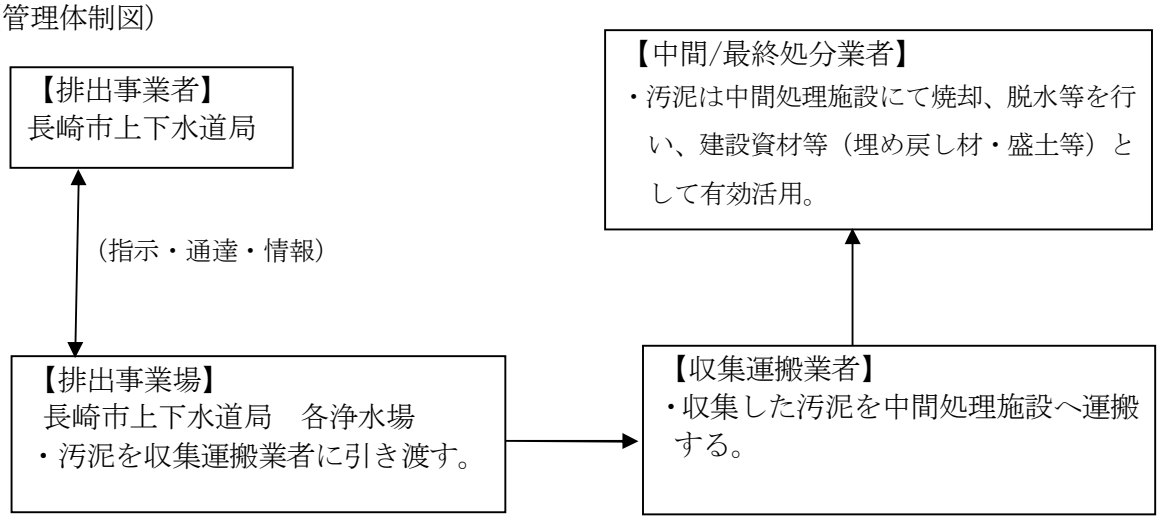
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	道ノ尾浄水場
事業場の所在地	西彼杵郡長与町高田郷38番地
計画期間	令和7年 4月 ～ 令和8年 3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	水道事業
②事業の規模	令和６年度 道ノ尾浄水場配水量実績　3,957,550㎥
③従業員数	上下水道局職員数 約260名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	1. 浄水工程のうち沈澱池・ろ過池等の洗浄時に発生した排水スラッジを天日乾燥して生成する。 2. 天日乾燥床より収集し、中間処理施設まで運搬。（委託） 3. 中間処理施設にて脱水処理を行う。（委託） 4. 建設資材等（埋め戻し材・盛土等）として有効活用。

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



※1　収集運搬、中間/最終処分業者と委託契約。

※2　電子マニフェストにより処理状況を確認。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①　現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（浄水）	
	排　　出　　量	1,650 t	t
	（これまでに実施した取組） 当局の浄水場から発生する浄水汚泥に対して直接的な抑制策は講じていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（浄水）	
	排　　出　　量	1,650 t	t
	（今後実施する予定の取組） 特に無し。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 浄水工程により発生する汚泥のみである。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 浄水工程により発生する汚泥のみである。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（浄水）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（浄水）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（浄水）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>1,563 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
直接的な抑制策は講じていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（浄水）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>1,560 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特に無し。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（浄水）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>87 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>87 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
中間処理施設にて焼却、脱水等を行い、建設資材（埋め戻し材・盛土等）として有効活用。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（浄水）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>90 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>90 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
中間処理施設にて焼却、脱水等を行い、建設資材等（埋め戻し材・盛土等）として有効活用。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

【添付資料】

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和７年　５月　２４日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者

住　所　　長崎県諫早市栄田町21－22

氏　名　　長崎ブロイラー産業株式会社
代表取締役　池松　和彦

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0957－25－1400

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	長崎ブロイラー産業株式会社
事業場の所在地	長崎県諫早市栄田町21－22
計画期間	令和6年　4月　～　令和7年　3月まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	09　食料品製造業
②事業の規模	114億4千万円　製造品出荷額前年度実績
③従業員数	333名　令和7年3月末現在
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添図－１

（日本工業規格　A列４番）

受付
7.5.28
資源循環推進課

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制

別添図－2</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　令和　６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
１.汚泥については、排水処理槽の脱窒素処理で、表面浮上した高濃度汚泥の回収を行い、汚泥脱水機で脱水することで、余剰発生量を抑制。又、脱水の際に使用する高分子凝集剤の適正な選定で、脱水汚泥の含水率が上がらないように調整している。

２.廃アルカリ（鶏の血液）は、直接専用容器に回収し、その際に洗浄水が入らないようにしている。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
1.排水処理により発生する余剰汚泥を抑える為、原水加圧浮上槽に最終曝気槽の活性化した、曝気槽汚泥水を一部入れ高分子凝集剤と混合して加圧浮上除去し、原水負荷を下げて汚泥の発生量を抑制する。

２.廃アルカリ（鶏の血液）は、直接専用容器に回収し、その際に洗浄水が入らないように徹底を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
２.廃アルカリ（鶏の血液）は、直接専用容器に回収し、その際に洗浄水が入らないようにしている。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
２.廃アルカリ（鶏の血液）は、直接専用容器に回収し、その際に洗浄水が入らないように徹底を図る。</td></tr>
</table>

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（　　－年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（　　令和　　６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり	－ｔ
	（これまでに実施した取組） 排水処理施設の汚泥については、余剰汚泥脱水に使用する高分子凝集剤の適正な選定で、脱水汚泥の含水率が上がらないように調整している。（排水処理施設より発生する汚泥についてはコンサルタント業者を入れて改善取組中。）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり	－ｔ
	（今後実施する予定の取組） １．　排水処理施設の汚泥については、余剰汚泥脱水に使用する高分子凝集剤の適正な選定で、脱水汚泥の含水率が上がらないように調整する。（排水処理施設より発生する汚泥についてはコンサルタント業者を入れて改善に引き続き取組む。）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　　－年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（　　令和　６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への処理委託量	－ｔ	－ｔ
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者への処理委託量	－ｔ	－ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ｔ	－ｔ
	（これまでに実施した取組） １．自社脱水機により脱水された汚泥（脱水汚泥）は委託処理業者に委託し、全量肥料化され再生利用されている。 ２．鶏の屠殺処理工程から発生する、廃アルカリ（鶏の血液）は、委託処理業者により、全量肥料化され再生利用されている。		

<table>
<tr><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

１．自社脱水機により脱水された汚泥（脱水汚泥）は処理業者に処理委託を継続する。（委託先で全量肥料化され再利用される。）

２．工場の屠殺放血処理工程から発生する廃アルカリ（鶏の血液）は、回収ピットよりポンプアップで専用容器に回収され、委託処理業者に委託を継続する。　　（委託先で全量肥料化され再利用される。）</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

別紙

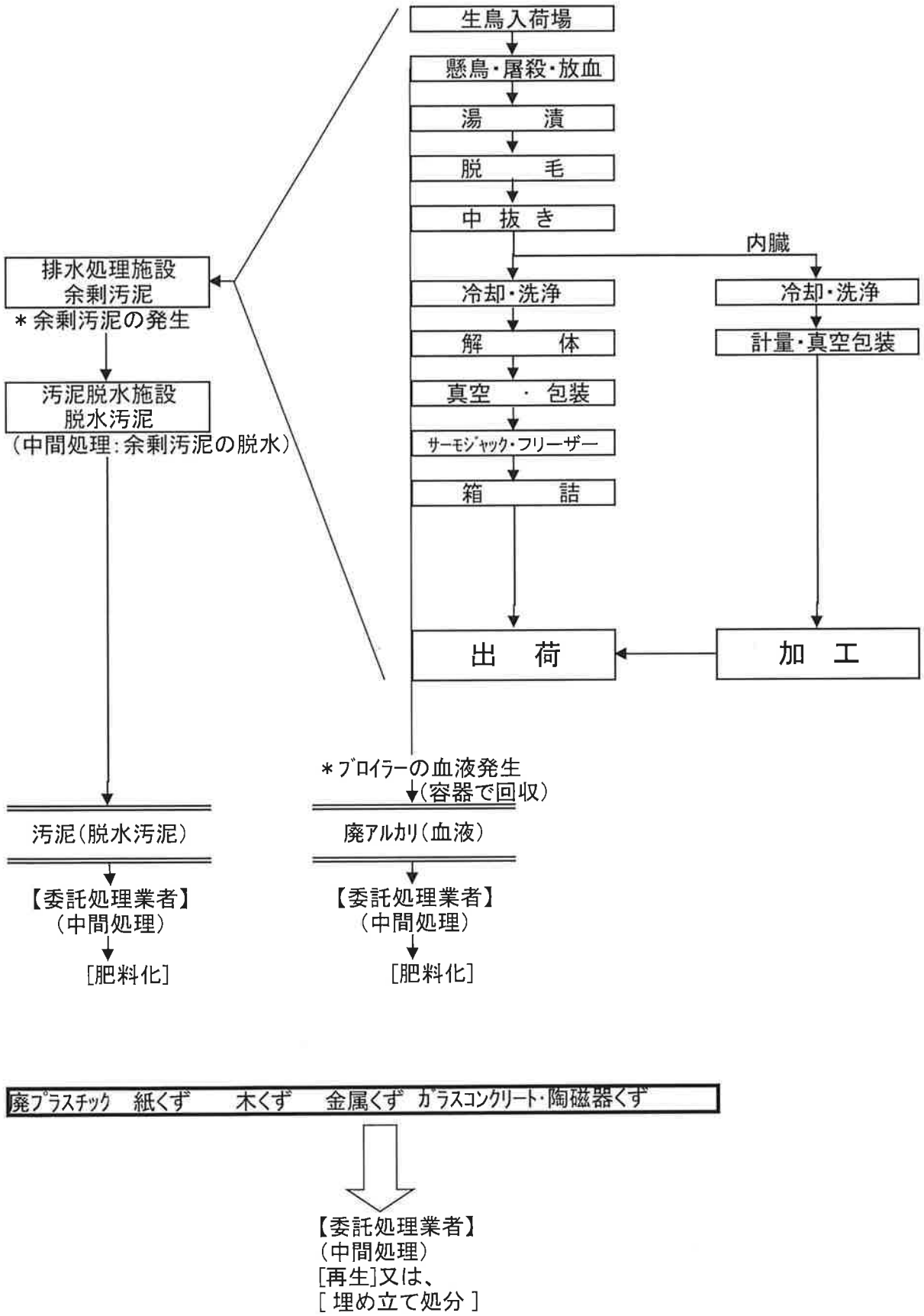
産業廃棄物処理計画実施状況

（単位：t）

廃棄物の種類	現状／計画	排出量	自己中間処理量	自己中間処理減量化量	自己中間処理後の残さ量	全量委託量	再生利用業者への処理委託量
汚泥	現状	15,158	15,149	14,047	1,102	1,111	1,111
	計画	15,000	15,000	14,000	1,000	1,000	1,000
廃アルカリ	現状	1,386				1,386	1,386
	計画	1,100				1,100	1,100
廃プラスチック	現状	6.650				6.650	
	計画	5.000				5.000	
木くず	現状	2.750				2.750	
	計画	3.000				3.000	
金属くず	現状	8.563				8.563	
	計画	7.000				7.000	
ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器く	現状	0.009				0.009	
	計画	0.100				0.100	
廃油	現状	0.495				0.495	
	計画	0.400				0.400	
	現状						
	計画						
総合計	現状	16,562.7	15,149	14,047	1,102	2,515.5	2,497
	計画	16,115.5	15,000	14,000	1,000	2,115.5	2,100

産業廃棄物の発生から処理工程

別添図－1



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項　　別添図－2

（管理体制図）	○役　　割
工場長	○廃棄物処理計画書の作成。 ○委託契約の締結。 ○監督官庁への各種報告。
品質管理室	○廃棄物リサイクルの推進検討。 ○工場の廃棄物管理規定の策定。 ○社員、関連会社に対する教育・啓発。 （排出される廃棄物の分別指導等。）
工務部	○工場の廃棄物一時保管・管理。
品質管理室課長	○産業廃棄物管理票の交付・管理。 ○廃棄物処理計画書の資料作成。 ○産業廃棄物発生の低減及び改善。 ○廃棄物処理施設の管理。（汚泥脱水施設） ○排水処理施設の管理。
環境対策管理	○廃棄物処理方針の策定。 ○廃棄物発生状況の把握と改善策の検討。 ○産業廃棄物発生の低減及び改善提案。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

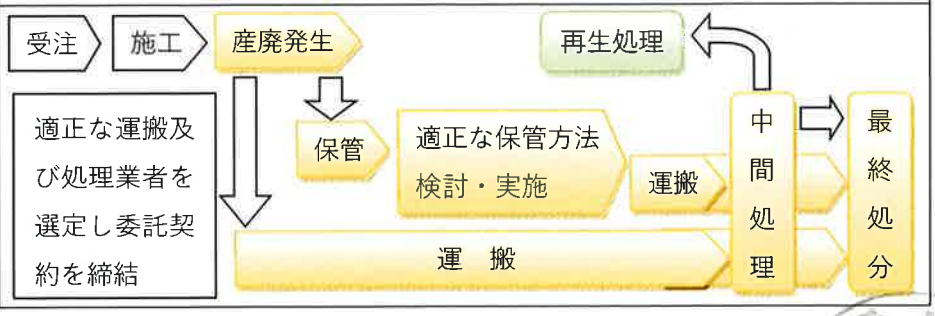
産業廃棄物処理計画書

令和　7年　6月　１6日

長崎県知事　大石　賢吾　　殿

提出者
住　所　長崎市玉園町2番37号
氏　名　株式会社長崎西部建設　岩本　隆宏
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　095-822-8501

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１２条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

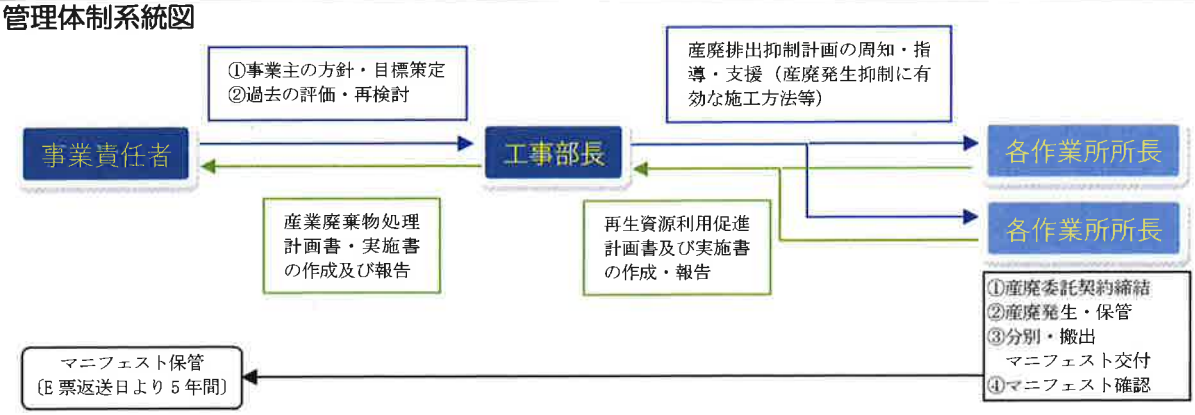
事業場の名称	株式会社　長崎西部建設
事業場の所在地	長崎市玉園町2番37号
計画期間	令和7年４月１日～令和8年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06　総合工事業
② 事業の規模	2,000,000　千円
③ 従業員数	50名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本工業規格　A列４番)

受付
7. 6. 16
資源循環推進課

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

管理体制系統図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（　令和　6年度）実績】 内訳については別途添付資料に記載 （これまでに実施した取組） ①ISO14001取得による産業廃棄物の排出抑制の推進 ② 産業廃棄物排出抑制に有効な工法・新技術の採用 ③納入する製品の梱包材を可能な限り省略するようメーカーに依頼
③ 計画	【目標】 内訳については別途添付資料に記載 （今後実施する予定の取組） ① ISO14001取得による産業廃棄物の排出抑制の推進 ④ 産業廃棄物排出抑制に有効な工法・新技術の採用 納入する製品の梱包材を可能な限り省略するようメーカーに依頼

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 事業所内において仮置きする際は、適切な場所と設備を考慮すると共に、適正な表示方法で種別毎に保管し再生可能な品目を確実にリサイクルできるよう努める。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①上記同様、再資源化に努め、環境負荷の低減に寄与する。

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（　令和　6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（　令和　6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　令和　6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="2">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和　6年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="3">内訳については別途添付資料に記載

（これまでに実施した取組）

①処理業者に関する許認可の確認
② マニフェストにより適正な期日・方法で処理がなされているかの確認
③</td></tr>
</table>

	②計画	【目標】 内訳については別途添付資料に記載 （今後実施する予定の取組） ①ISO14001を活用した優良な処理業者の選定 ②電子マニフェスト導入により処理内容を透明化しコンプライアンスを遂行 ③優良認定処理業者への処理委託を積極的に推進し、透明性のある開かれた処理内容を自ら確認する。
※事務処理欄		

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別　紙

産業廃棄物処理計画書　内訳書（廃棄物の種類が3つ以上ある場合この表を使用してください。）

数字(t)

廃棄物の種類			コンクリート塊	アスファルト塊	その他の瓦礫類	ガラス・陶磁器くず	木くず	建設汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	金属くず	廃石膏ボード	繊維くず	廃油	廃石綿	合計
廃棄物の排出の抑制に関する事項																
	①現状(6年度実績)	排出量	540.3	104.3	0.0	2,198.7	27.8	1.9	0.0	28.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,901.5
	②計画(7年度計画)	排出量	486.3	93.9	0.0	1,978.8	25.0	1.7	0.0	25.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,611.3
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																
	①現状(6年度実績)	自ら再生利用を行った量														0.0
	②計画(7年度計画)	自ら再生利用を行う量														0.0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																
	①現状(6年度実績)	自ら熱回収を行った量														0.0
		自ら中間処理により減量する量														0.0
	②計画(7年度計画)	自ら熱回収を行った量														0.0
		自ら中間処理により減量する量														0.0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分																
	①現状(6年度実績)	自ら埋立処分を行った量														0.0
	②計画(7年度計画)	自ら埋立処分を行う量														0.0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																
	①現状(6年度実績)	全処理委託量	540.3	104.3	0.0	2,198.7	27.8	1.9	0.0	28.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,901.5
		(内訳)優良認定処理業者へ処理を委託した量	309.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	329.0
		(内訳)再生処理業者へ処理を委託した量	231.3	84.3	0.0	2,198.7	27.8	1.9	0.0	28.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,572.5
		(内訳)認定熱回収業者へ処理を委託した量														0.0
		(内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量														0.0
	②計画(7年度計画)	全処理委託量	486.3	93.9	0.0	1,978.8	25.0	1.7	0.0	25.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,611.3
		(内訳)優良認定処理業者へ処理を委託する量	291.8	56.3	0.0	1,187.3	15.0	1.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,566.8
		(内訳)再生利用業者へ委託を委託する量	194.5	37.5	0.0	791.5	10.0	0.7	0.0	10.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,044.5
		(内訳)認定熱回収業者へ処理を委託する量														0.0
		(内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量														0.0

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和７年６月１０日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　長崎県西彼杵郡長与町嬉里郷６５９番地１
氏　名　長与町長　吉田　愼一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０９５－８８３－１１１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	長与浄化センター
事業場の所在地	長崎県西彼杵郡長与町岡郷６５８番地２
計画期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	３６　水道業
② 事業の規模	５９，０４６万円
③ 従業員数	１７人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本産業規格　Ａ列４番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

長与浄化センター → 汚泥運搬（運搬委託） → 汚泥処理（処理委託）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>１，７１７ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>１，７００ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>① 現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
―</td></tr>
<tr><td>③ 計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
―</td></tr>
</table>

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>―</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>―</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>―</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>―</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	１，７１７ｔ	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	１，７１７ｔ	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>１，７００ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>１，７００ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

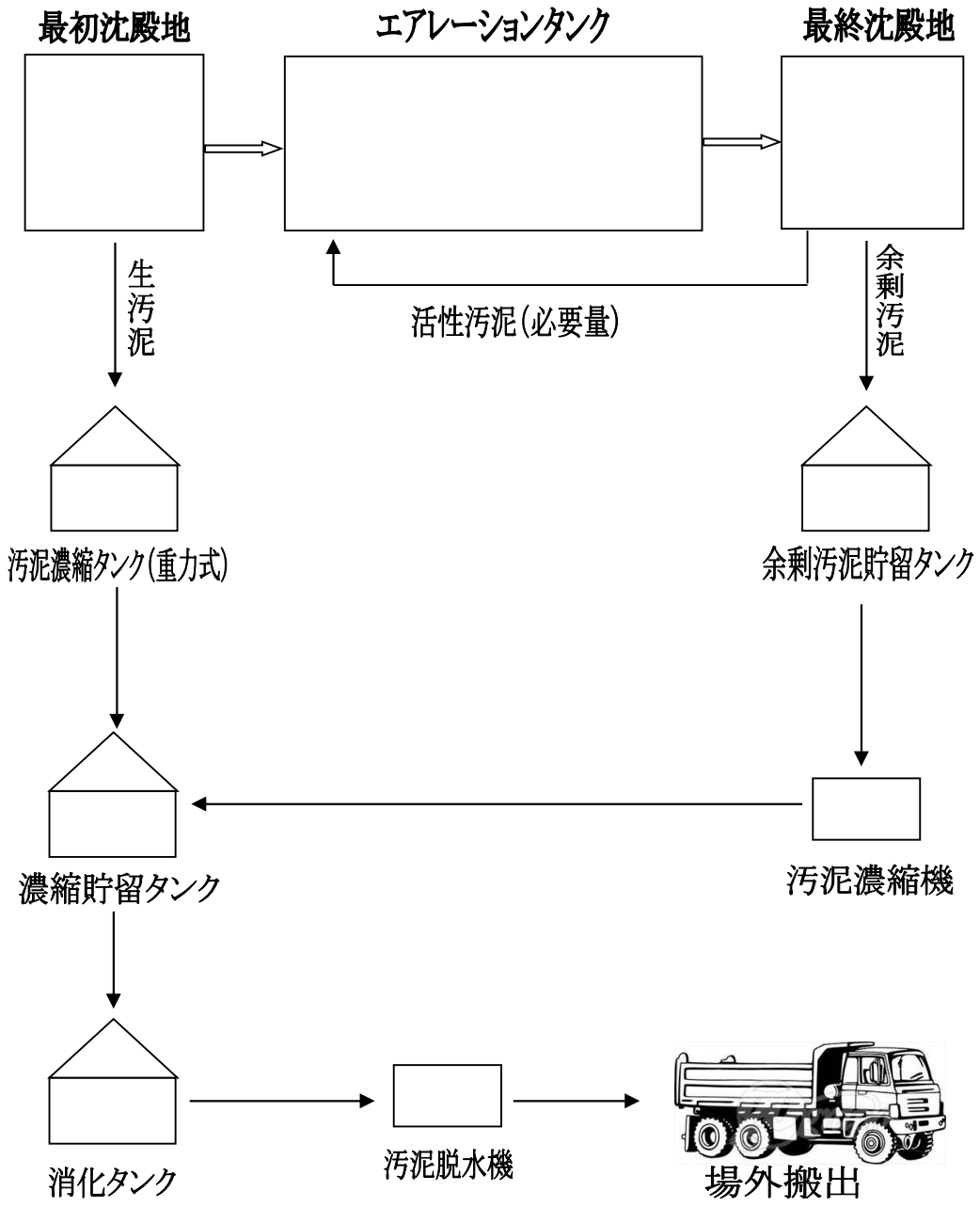
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

④産業廃棄物の一連の処理の工程 （別紙）

汚泥の処理状況



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2025年　6月　17日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　大村市富の原1丁目1557番地1
氏　名　㈱ニチレイフーズ　長崎工場
工場長　岩田　欣也
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0957-55-8685

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

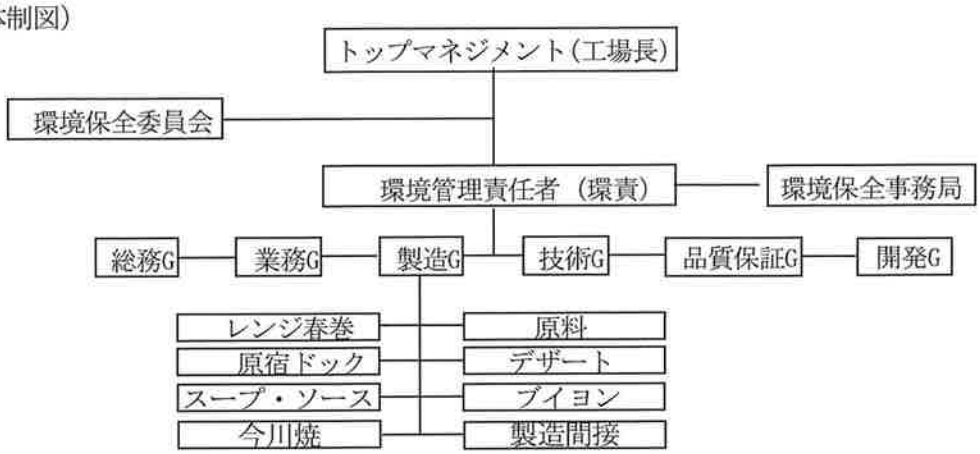
事業場の名称	㈱ニチレイフーズ　長崎工場
事業場の所在地	大村市富の原1丁目1557番地1
計画期間	2025年4月　～　2026年3月（１年間）
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	冷凍調理食品製造業
②事業の規模	5,747,152（千円）
③従業員数	305名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本産業規格　A列４番）

受付
-7.6.19
資源循環推進課

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	―
排　出　量	別紙のとおり　t	―　t

（これまでに実施した取組）

歩留りの向上、製品落下の削減等の取組みを実施中。
廃棄物残渣の飼料化実施。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	―
排　出　量	別紙のとおり　t	―　t

（今後実施する予定の取組）

更なる歩留りの向上、製品落下の削減等の取組みを実施。
排出現場での、より一層の分別の実施。
廃棄物残渣の飼料の推進
廃棄物の有価物化の推進

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

種類毎に、専用容器にて分別保管を実施中。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

都度見直しを行ない、種類毎に、専用容器にて分別保管を実施。

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	― t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	― t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	― t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	―
	全処理委託量	別紙のとおり t	― t
	優良認定処理業者への処理委託量	― t	― t
	再生利用業者への処理委託量	― t	― t
	認定熱回収業者への処理委託量	― t	― t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	― t	― t
	（これまでに実施した取組） 産業廃棄物処理委託契約書の確認・見直し。 産業廃棄物処理委託先の現地確認。		

<table>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="10">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>別紙のとおり　t</td><td>—　t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>—　t</td><td>—　t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>—　t</td><td>—　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>—　t</td><td>—　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>—　t</td><td>—　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物処理委託先の現地確認。
認定業者の情報収集。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理フローシート

2025年6月17日

＜発生源＞	＜廃棄物＞	＜ 処理 ＞	＜ 処分 ＞
製造工程	動植物性残さ（残渣、皮残渣）	微生物処理	堆肥化
	動植物性残さ（一部ワッフル残渣）	焼却	埋立
	動植物性残さ（ワッフル残渣）	乾燥	飼料化（豚舎）
	動植物性残さ（鶏がら）	蒸煮・焼却	建設資材
	廃プラスチック（フィルム、ビニール、容器等）	破砕・圧縮	燃料
	廃油	中和	燃料
	廃酸・廃アルカリ	中和	埋立
設備改善	ガラス・陶磁器くず	破砕・焼却（ビン）	再利用
		破砕・選別（蛍光灯）	再利用
	木くず（廃木パレット等）	破砕	燃料
	金属くず（乾電池等）	破砕	再利用
排水処理工程	汚泥（脱水ケーキ）	微生物処理	堆肥化
	浄化槽汚泥	微生物処理	堆肥化

別紙

産業廃棄物処理計画書内訳（2025年度目標値）

（単位：トン）

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量①	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量②	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量④	全委託量（①－（②+③+④））	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
動植物性残さ	992.64	0	0	0	992.64	0	344.88	0	647.75
汚泥	212.77	0	0	0	212.77	0	212.77	0	0.00
廃プラスチック類	146.95	0	0	0	146.95	0	18.85	0	128.10
混合廃棄物	3.64	0	0	0	3.64	0	0.00	0	3.64
廃油	2.65	0	0	0	2.65	0	0.03	0	2.62
金属くず	0.25				0.25		0.25		0.00
廃酸・廃アルカリ	0.03				0.03		0.03		0.00
パソコン	0.10				0.10		0.10		0.00
蛍光灯	0.08				0.08		0.08		0.00
合 計	1359.11	0	0	0	1359.11	0	577.00	0	782.11

別紙

産業廃棄物処理計画書内訳（前年度（ 2024年度 ）実績）

（単位：トン）

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量①	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量②	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量④	全委託量（①－（②+③+④））	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
動植物性残さ	982.86				982.86	0	344.34	0	638.52
汚泥	212.44				212.44	0	212.44	0	
廃プラスチック類	146.72				146.72	0	18.82	0	127.90
混合廃棄物	3.63				3.63	0	0	0	3.630
廃油	2.65				2.65	0	0.03	0	2.62
金属くず	0.25				0.25	0	0.25		0.00
廃酸・廃アルカリ	0.03				0.03	0	0.03		0.00
パソコン	0.10				0.10	0	0.10		
蛍光灯	0.08				0.08	0	0.08		
合　計	1348.76	0	0	0	1348.76	0	576.09	0	772.67

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月23日

長崎県知事 殿

提出者

住 所　福岡県福岡市中央区薬院１－１４－５

氏 名　西松建設株式会社九州支社

執行役員支社長 高橋　一太

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　０９２－７７１－４１２４（担当：浦吉）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	西松建設株式会社　九州支社
事業場の所在地	福岡県福岡市中央区薬院１－１４－５
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	3,362億円（全社）
③従業員数	2,762人（全社）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　Ａ列4番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
・手戻りをなくし、廃棄物増加の防止を図った。
・簡易梱包を奨励し、過剰梱包を極力減らした。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）
・手戻りをなくし、廃棄物増加の防止する。
・過簡易梱包を奨励し、剰梱包を極力減らす。
・鉄筋、型枠類のプレカット化をより促進する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="2">①現状</td><td colspan="2">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・特定建設資材廃棄物以外の品目も極力分別し、混合廃棄物量の削減を図った。</td></tr>
<tr><td colspan="2">②計画</td><td colspan="2">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・特定建設資材廃棄物以外の品目も極力分別し、混合廃棄物量を大幅に削減する。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	－	－
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	－	－
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	t
	（今後実施する予定の取組） ・可能であれば建設汚泥・コンクリートがらの自ら利用を実施する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	－	－
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	－	－
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・委託する処理施設の適正処理状況を確認した。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・委託する処理施設の適正処理状況を確認する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

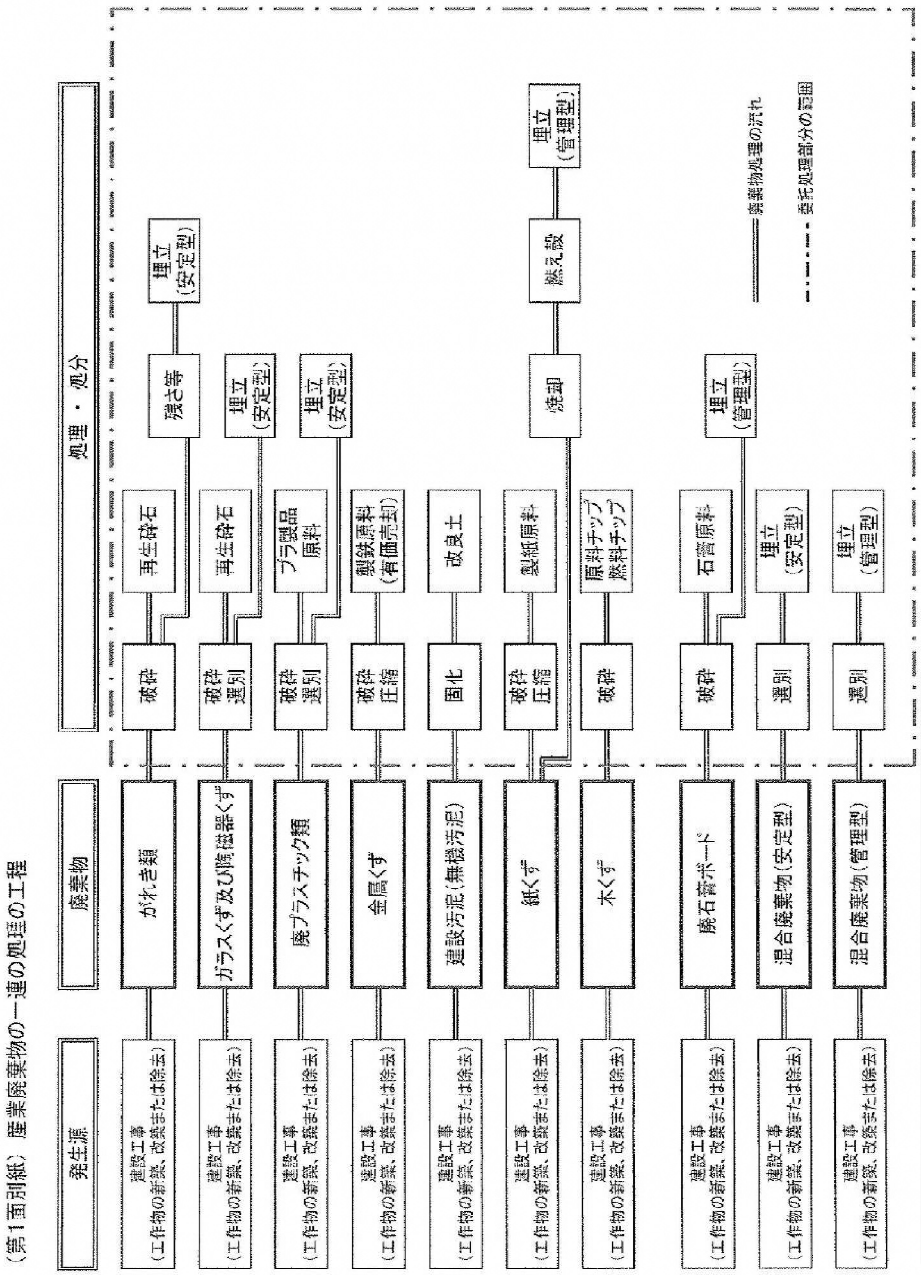
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

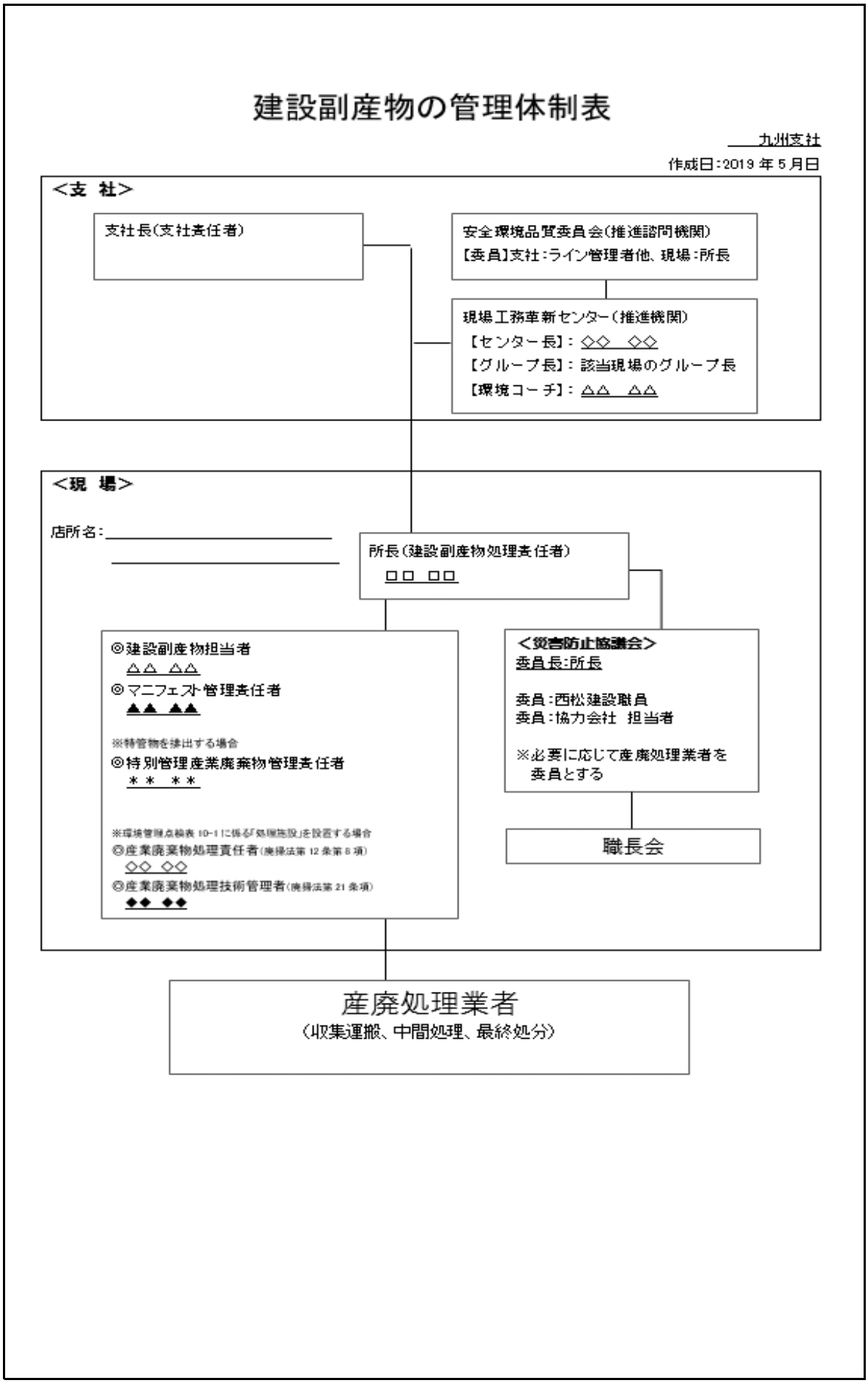
7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図



混合廃棄物は選別後、再生利用できる品目はすべて再生利用施設へ搬出している。

別添２ 管理体制図


建設副産物の管理体制表
九州支社
作成日:2019 年 5 月日
<支 社>
支社長(支社責任者)
安全環境品質委員会(推進諮問機関)
【委員】支社:ライン管理者他、現場:所長
現場工務革新センター(推進機関)
【センター長】: ◇◇ ◇◇
【グループ長】: 該当現場のグループ長
【環境コーチ】: △△ △△
<現 場>
店所名:
所長(建設副産物処理責任者)
□□ □□
◎建設副産物担当者
△△ △△
◎マニフェスト管理責任者
▲▲ ▲▲
※特管物を排出する場合
◎特別管理産業廃棄物管理責任者
＊＊ ＊＊
※環境管理点検表 10-1 に係る「処理施設」を設置する場合
◎産業廃棄物処理責任者(廃掃法第 12 条第 8 項)
◇◇ ◇◇
◎産業廃棄物処理技術管理者(廃掃法第 21 条項)
◆◆ ◆◆
<災害防止協議会>
委員長:所長
委員:西松建設職員
委員:協力会社 担当者
※必要に応じて産廃処理業者を
委員とする
職長会
産廃処理業者
(収集運搬、中間処理、最終処分)

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状：前年度（令和6年度）実績量
計画：今年度（令和7年度）計画量（目標）

単位：トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量		処理の委託									
	排出量				自ら熱回収を行った(行う)量		自ら中間処理により減量した(する)量				全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	33.00	29.70	―	―	―	―	―	―	―	―	33.00	29.70	33.00	29.70	33.00	29.70	0.00	0.00	0.00	0.00
廃油	2.32	2.09	―	―	―	―	―	―	―	―	2.32	2.09	0.00	0.00	2.32	2.09	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	76.13	68.52	―	―	―	―	―	―	―	―	76.13	68.52	76.13	68.52	76.13	68.52	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	3.75	3.38	―	―	―	―	―	―	―	―	3.75	3.38	3.75	3.38	3.75	3.38	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	126.78	114.10	―	―	―	―	―	―	―	―	126.78	114.10	126.78	114.10	126.78	114.10	0.00	0.00	0.00	0.00
繊維くず	42.00	37.80	―	―	―	―	―	―	―	―	42.00	37.80	42.00	37.80	42.00	37.80	0.00	0.00	0.00	0.00
廃石膏ボード	12.30	11.07	―	―	―	―	―	―	―	―	12.30	11.07	12.30	11.07	12.30	11.07	0.00	0.00	0.00	0.00
コンクリート片	1,578.47	1,420.62	―	―	―	―	―	―	―	―	1,578.47	1,420.62	1,578.47	1,420.62	1,578.47	1,420.62	0.00	0.00	0.00	0.00
アス・コン片	477.83	430.05	―	―	―	―	―	―	―	―	477.83	430.05	477.83	430.05	477.83	430.05	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物（管理型）	26.52	23.87	―	―	―	―	―	―	―	―	26.52	23.87	26.52	23.87	26.52	23.87	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	2,379.10	2,141.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,379.10	2,141.20	2,376.78	2,139.11	2,379.10	2,141.20	0.00	0.00	0.00	0.00

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和７年　６月　３０日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　　長崎県諫早市貝津町　1008
氏　名　　西日本高速道路メンテナンス九州㈱
長崎保全センター　センター長　　窪　修
電話番号　　０９５７－２５－２１５３

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	西日本高速道路メンテナンス九州㈱　長崎保全センター
事業場の所在地	長崎県 諫早市 貝津町　1008
計画期間	令和７年　４月１日　～　令和８年　３月　３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業・総合工事業
②事業の規模	元請完成高　　９．０億円
③従業員数	４２人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場 → 収集運搬 → 中間処理 → 再生資源 収集運搬 → 埋立処分

（日本産業規格　Ａ列４番）

受付
-7.6.30
資源循環推進課

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
廃棄物処理総括責任者
本社　保全工事部長
｜
廃棄物処理総括責任者
長崎保全センター
センター長
｜
廃棄物処理担当者
長崎保全センター
工務課長</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>―</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

廃棄物の排出量が抑制できる工法の提案を行っている。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>―</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

・廃棄物の排出量が抑制できる工法の提案を行う。
・梱包材を簡素化する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
建設リサイクル法の特定建設資材以外も分別している。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
なるべく混合廃棄物を排出しないよう、分別に取組む。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	―	―
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	―	―
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	―	―
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	―	―
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	―	―
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	―	―
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特になし</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>—</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>—</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>—</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>—</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

「コンクリートがら」、「木くず」について、再生資材として販売している処理業者へ委託している。また、「紙くず」の一部については、再生資材として販売している処理業者へ委託している。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>—</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>—</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>—</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>—</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>別紙内訳のとおり</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

「コンクリートがら」について、排出量を「優良認定処理業者」へ委託する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　7年　6月　26日

長崎県知事　大石 賢吾　殿

提出者
住　所　長崎県諫早市船越町７００
氏　名　日本ハム株式会社　諫早プラント
工場長　　金山　幸子
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０９５７－２２－１３４６

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１２条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本ハム株式会社　諫早プラント
事業場の所在地	長崎県諫早市船越町７００
計画期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	約２６，１９１ｔ（令和６年度製造数量）
③従業員数	９２５名（令和７年４月１日現在、協力会社従業員含む）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	当工場の各製造工程より、動植物性残渣・廃プラスチック・金属くず、排水処理より汚泥が発生する。これらは産業廃棄物収集運搬業及び処分業の許可を持つ専門業者と廃棄物委託処理契約を締結し、適切に処理している。

（日本工業規格　A列４番）

（第２面）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

※別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
製造ラインでの落下物・不良の発生抑制。
廃棄物から有価物への分別強化。
排水処理施設での水質安定化及び加圧浮上槽での運転改善による余剰汚泥発生量の抑制。含水率の低減。
有価物への分別強化による不燃廃棄物の削減。
製造工程見直しによる廃棄物の削減。
商品設計見直しによる廃棄物の削減。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き上記取組を継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
動植物性残渣、廃プラスチック、廃油、金属くず、不燃廃棄物、汚泥、専用容器を設置し分別保管している。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
不燃廃棄物をさらに分別し、有価物化していく。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
製造工程見直しによる廃棄物削減。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き上記取組を継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
排水処理施設での前処理工程油分回収率向上や水質安定化及び加圧浮上槽での運転管理強化による余剰汚泥発生の削減と共に、脱水汚泥の含水率管理を継続していく。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き上記取組を継続する。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	（これまでに実施した取組） 分別管理強化し有価物へ変更することにより、廃棄物処理委託量の削減。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
		全処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
		別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり
		別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり
		別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり
		別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり
		（今後実施する予定の取組） 廃棄物の有価化推進。 引き続き優良認定処理業者への業者変更も進めていく。		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

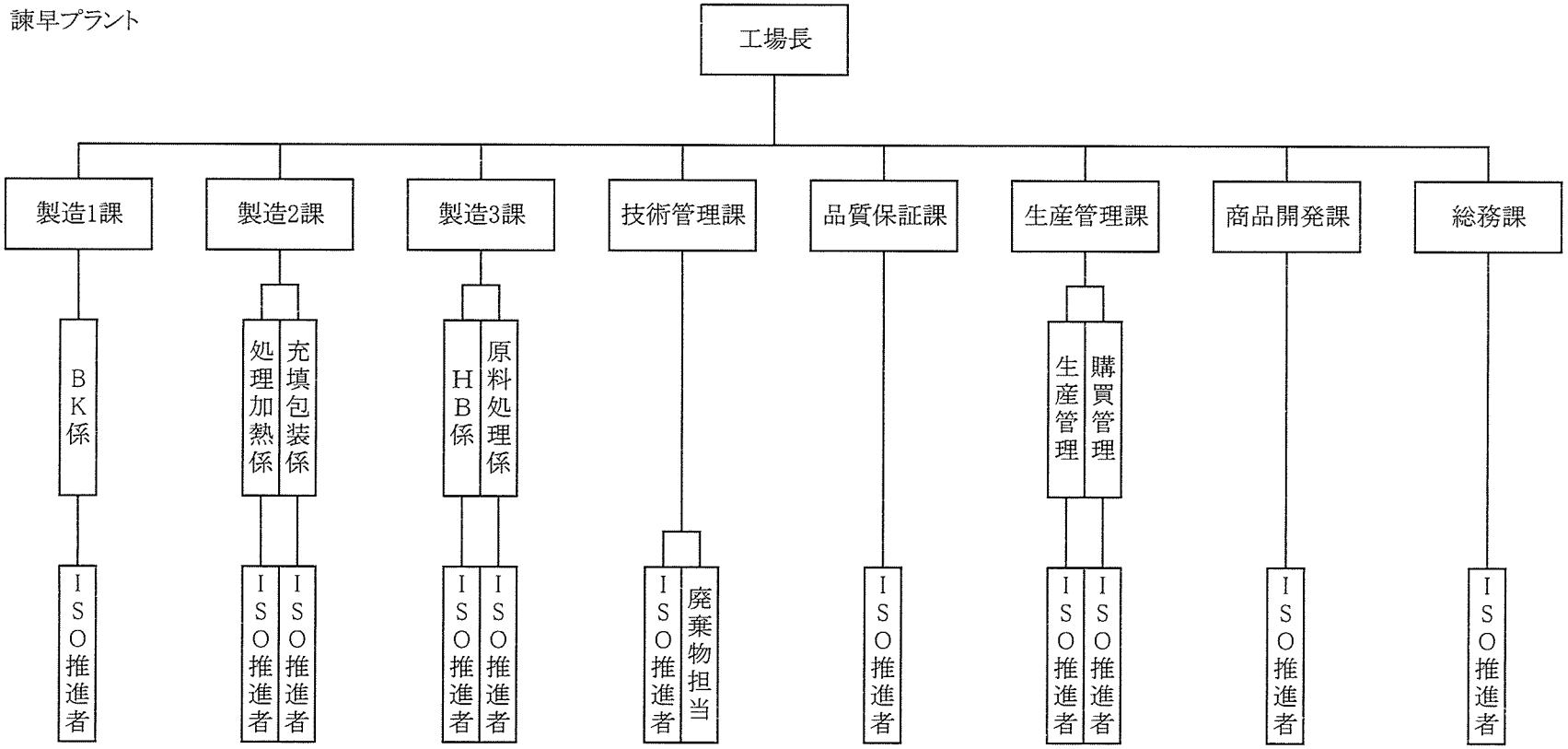
5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

諫早プラント組織図

諫早プラント



管理体制（組織）

工場責任者： 日本ハム㈱諫早プラント 工場長 金山 幸子

廃棄物担当責任者： 技術管理課 課長 姫田 耕一

技術管理課： 当工場の廃棄物の廃棄物処理業者への委託処理業務及び工場全体の廃棄物の適正処理を行うための運営と管理を行う。

各 部 署 ： 廃棄物の排出の際は、分別を実施した後所定の廃棄物保管庫へ運搬する。

別紙

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

排出者の名称	日本ハム㈱諫早プラント　工場長　金山　幸子	提出者の住所	長崎県諫早市船越町700
事業者の名称	日本ハム㈱諫早プラント　工場長　金山　幸子	事業場の所在地	長崎県諫早市船越町700
内容年度	令和　7　年度		

（単位：トン）

廃棄物の種類	現状/計画	排出量	自社内での処理状況					委託先での処理状況				
									委託処理量のうち委託先毎の量			
			自己再生利用量	自己中間処理量	うち熱回収量	自己中間処理減量化量	自己最終処分量	全量委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
動植物性残渣	現状	755.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	755.3	0.0	755.3	0.0	755.3
	計画	675.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	675.7	0.0	675.7	0.0	675.7
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	現状	399.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	399.1	179.9	227.5	88.1	310.1
	計画	349.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	349.7	157.6	199.3	77.2	271.7
汚泥	現状	1,239.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,239.5	0.0	1,239.5	0.0	1,239.5
	計画	1,120.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,120.3	0.0	1,120.3	0.0	1,120.3
ｶﾞﾗｽｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器ｸﾞｽﾞ	現状	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	3.9	10.3	0.0	0.0
	計画	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	3.4	9.0	0.0	0.0
金属ｸﾞｽﾞ	現状	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0
	計画	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	4.6	4.6	0.0	0.0
特定有害産業廃棄物	現状	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計画	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木くず	現状	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	2.4	2.4	0.0	0.0
	計画	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	2.1	0.0	0.0
廃油	現状	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0	3.4
	計画	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0	3.0
合計	現状	2,415.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,415.3	191.5	2,243.7	88.1	2,308.3
	計画	2,164.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,164.5	167.8	2,014.1	77.2	2,070.7

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2025 年　　月　　日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者　　日本フードパッカー株式会社　諫早工場

住　所　854-0022　長崎県諫早市幸町79-23

氏　名　　工場長　神谷　洋介

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号　　0957-22-1343

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本フードパッカー株式会社　諫早工場
事業場の所在地	長崎県諫早市79番23号
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	食肉処理業
②　事業の規模	前年度売上高　：　152 億円
③　従業員数	201名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1　産業廃棄物処理工程

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
（管理体制図） 別添2　　産業廃棄物に係る管理体制			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（　　令6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表内訳表	
	排出量	2540.3　t	t
	（これまでに実施した取組） 汚泥　：　工場用水節水。固形物、不純物の除去。汚泥脱水機のメンテナンス。汚水原水の低減等。 動植物性残渣　：　水分を出来るだけ切り排出。 廃プラスチック　：　可燃物との分別		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表内訳表	
	排出量	2,470.6　t	t
	（今後実施する予定の取組） 1頭当りの排出量を削減出来るように、現状の取り組みの維持と排水処理施設の管理徹底。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック　：　排出の際、分別用の収集缶を設置している為分別するように呼びかけ。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取り組みを維持し金属とプラスチック類を出来るだけ分解し分ける。		

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（　　令6 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	別表内訳表	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　　t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別表内訳表	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　　t	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（　　令6 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	別表内訳表	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　　t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　　t	t
		（これまでに実施した取組） 自社にて中間処理は実施していない。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別表内訳表	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　　t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　　t	t
		（今後実施する予定の取組） 自社にて中間処理をする計画はない。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（　　令6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表内訳表	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0　t	t
	（これまでに実施した取組） 自社で埋立処分又は、海洋投入を行う事はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表内訳表	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0　t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自社で埋立処分又は、海洋投入を行う事はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（　　令6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表内訳表	
	全処理委託量	2,540.3　t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,997.4　t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	542.9　t	t
	（これまでに実施した取組） 汚泥　：　発生量を抑制する為に、水分調整や排水処理施設の管理している。堆肥化にて処理をする業者を選定し委託している。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別表内訳表</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>2,470.6 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1,942.6 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>528.0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
汚泥　：　1頭当りの排出量を削減出来るように、今後も排水処理施設の性能維持に努め、発生汚泥の削減に努める。又、委託業者も堆肥化し再生利用を行う業者へ引き続き委託する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

請じまと。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

中間

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者の焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

量行収あへ

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

とのの入

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書

別添内訳書

単位 (t)

廃棄物の種類			廃プラスチック類	金属くず	汚泥	汚泥（動物の糞尿）	廃アルカリ	動物系固形不要物	廃プラ（軍手・フィルムクズ等）	汚泥（無機性）				合計
廃棄物の排出の抑制に関する事項														
	①現状（2024年度実績）	排出量	4.4	6.2	815.3	220.5	951.0	448.8	30.6	63.5				2,540.3
	②計画（2025年度計画）	排出量	4.3	6.0	792.9	214.4	924.9	436.5	29.8	61.8				2,470.6
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項														
	①現状（2024年度実績）	自ら再生利用を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
	②計画（2025年度計画）	自ら再生利用を行う量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項														
	①現状（2024年度状況）	自ら熱回収を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		自ら中間処理により減量する量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
	②計画（2025年度計画）	自ら熱回収を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		自ら中間処理により減量する量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分														
	①現状（2024年度状況）	自ら埋立処分を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
	②計画（2025年度計画）	自ら埋立処分を行う量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項														
	①現状（2024年度状況）	全処理委託量	4.4	6.2	815.3	220.5	951.0	448.8	30.6	63.5				2,540.3
		（内訳）優良認定処理業者へ処理を委託した量（23記入無）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		（内訳）再生処理業者へ処理を委託した量	4.4	6.2	815.3	220.5	951.0	0.0	0.0	0.0				1,997.4
		（内訳）認定熱回収業者へ処理を委託した量（23記入無）	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		（内訳）認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	448.8	30.6	63.5				542.9
	②計画（2025年度計画）	全処理委託量	4.3	6.0	792.9	214.4	924.9	436.5	29.8	61.8				2,470.6
		（内訳）優良認定処理業者へ処理を委託する量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		（内訳）再生利用業者へ委託を委託する量	4.3	6.0	792.9	214.4	924.9	0.0	0.0	0.0				1,942.6
		（内訳）認定熱回収業者へ処理を委託する量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		（内訳）認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	436.5	29.8	61.8				528.0

産業廃棄物処理工程

別添1

廃プラスチック類	生産工程で不要品発生	リサイクル可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇再生利用目的
金属くず	使用器具等の故障等により発生	リサイクル可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇再生利用目的
汚泥	生産工程で発生する汚水を処理し発生	リサイクル可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇再生利用目的
汚泥(動物の糞尿)	動物の糞尿	リサイクル可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇再生利用目的
廃アルカリ	生産工程で発生	リサイクル可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇再生利用目的
動物系固形不要物	生産工程で発生	リサイクル不可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇焼却後管理型埋め立て
廃プラ(軍手・フィルムクズ等)	生産工程で発生	リサイクル不可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇焼却後管理型埋め立て
汚泥 (無機性)	生産工程で発生する汚水を処理し発生	リサイクル不可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇焼却後管理型埋め立て

産業廃棄物の処理に係る管理体制

別添2

工場長
↓
総務部
↓
製造部
↓
設備管理課

■廃棄物担当
■処理計画作成担当

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

令和　7年　 4月　　22日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者　日本フードパッカー㈱川棚工場
住　所　長崎県東彼杵郡川棚町百津郷39
氏　名　　工場長　稲田　拓哉
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　（0956）82-4515

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本フードパッカー株式会社　川棚工場
事業場の所在地	長崎県東彼杵郡川棚町百津郷39番地
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	前年度売上高　106 億円
③従業員数	191 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1　産業廃棄物処理工程

(日本工業規格　A列４番)

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

別添２　産業廃棄物に係る管理体制</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表内訳表</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>2396.55ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
汚泥：場内節水・脱水助剤調整

廃プラスチック：包装機点検調整</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表内訳表</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>2348.62ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・脱水助剤調整
・包装機点検調整</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
自販機紙コップ、空き缶、ペットボトル：
自販機の商品のゴミは業者へお持ち帰りして頂いている。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現状の取組みの維持</td></tr>
</table>

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>-　ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自社にて再生利用は実施していない。</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>-　ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も自社にて再生利用を実施する予定はない。</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>-　ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>-　ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自社にて中間処理は実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>-　ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>-　ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も自社にて中間処理を実施する予定はない。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（　　令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	- ｔ
	（これまでに実施した取組） 自社で埋め立て処分又は海洋投入は実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	- ｔ
	（今後実施する予定の取組） 今後も自社で埋め立て処分、又は海洋投入を行う事はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（　　令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙内訳表	
	全処理委託量	2396.55ｔ	ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	再生利用業者への処理委託量	2331.64ｔ	ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	64.91ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 汚泥：排水処理装置の維持管理の徹底。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙内訳表</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>2348.62ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>2285.01ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>63.61ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
汚泥：今後も汚泥脱水装置・排水処理装置の維持管理に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 書

別添内訳書

数字（t）

			汚泥	堆積汚泥	廃プラスチック	ガラス・陶器くず 金属くず（使用済蛍光管）「水銀使用製品産業廃棄物」	ガラス・陶器くず	動物性残渣	廃アルカリ	汚泥（腹糞）	動物の死体	木くず	合計
廃棄物の排出の抑制に関する事項													
	①現状（令和6年度実績）	排出量	1,023.98	22.86	30.16	0.00	0.00	11.50	1,166.78	114.96	25.920	0.39	2,396.55
	②計画（令和7年度計画）	排出量	1,003.50	22.40	29.56	0.00	0.00	11.27	1,143.44	112.66	25.402	0.38	2,348.62
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項													
	①現状（令和6年度実績）	排出量											0.00
	②計画（令和7年度計画）	排出量											0.00
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項													
	①現状（令和6年度実績）	自ら熱回収を行った量											0.00
		自ら中間処理により減量する量											0.00
	②計画（令和7年度計画）	自ら熱回収を行った量											0.00
		自ら中間処理により減量する量											0.00
自ら行う産業廃棄物の埋め立て処分													
	①現状（令和6年度実績）	自ら埋立処分を行った量											0.00
	②計画（令和7年度計画）	自ら埋立処分を行う量											0.00
産業廃棄物の処理の委託に関する事項													
	①現状（令和6年度実績）	全処理委託量	1,023.98	22.86	30.16	0.00	0.00	11.50	1,166.78	114.96	25.920	0.39	2,396.55
		（内訳）優良認定処理業者へ処理を委託した量（22記入無）											0.00
		（内訳）再生処理業者へ処理を委託した量	1,023.98			0.00			1,166.78	114.96	25.920		2,331.64
		（内訳）認定熱回収業者へ処理を委託した量（22記入無）											0.00
		（内訳）認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量		22.86	30.16			11.50				0.39	64.91
	②計画（令和7年度計画）	全処理委託量	1,003.50	22.40	29.56	0.00	0.00	11.27	1,143.44	112.66	25.402	0.38	2,348.62
		（内訳）優良認定処理業者へ処理を委託する量											0.00
		（内訳）再生処理業者へ処理を委託する量	1,003.50			0.00			1,143.44	112.66	25.402		2,285.01
		（内訳）認定熱回収業者へ処理を委託する量											0.00
		（内訳）認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量		22.40	29.56			11.27				0.38	63.61

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　7年　6月　20日

長崎市長　殿

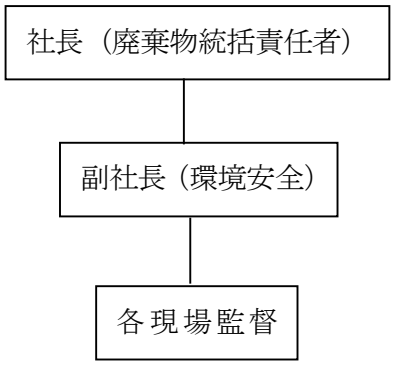
提出者
住　所　福岡県久留米市三潴町西牟田6442-1
氏　名　　株式会社フジクロ
代表取締役　中 島　崇
電話番号　0942-51-5021

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	竹松（6）整備場新設等土木工事
事業場の所在地	長崎県大村市
計画期間	令和　7年　4月　1日　～　令和　8年　3月　31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	請負金額　：　374,880千円
③従業員数	17名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和　6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート	木くず
排　　出　　量	1,088 t	116.33 t

（これまでに実施した取組）
・余剰資材が出ないように発注した。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート	木くず
排　　出　　量	980.0 t	110.0 t

（今後実施する予定の取組）

・準備工で使用する角材、板材は3回転用する

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・がれき類（アスファルト・コンクリート等）の種類別、木くず等については根・幹葉の分別

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・上記の取組みを継続する。

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和　6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ
	（これまでに実施した取組） ・公共工事のため工事特記仕様書のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ
	（今後実施する予定の取組） ・なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和　6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ
	（これまでに実施した取組） ・なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ
	（今後実施する予定の取組） ・予定なし		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　6年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・実施していない</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・予定なし</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　6年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>1,088 t</td><td>116.33 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>1,088 t</td><td>116.33 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

・工事個所と工事特記仕様書に明記している運搬距離を考慮して
中間処理施設を決定する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1,088 t</td><td>116.33 t</td></tr>
<tr><td colspan="2">優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>1,088 t</td><td>116.33 t</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>1,088 t</td><td>116.33 t</td></tr>
<tr><td colspan="2">認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

・産廃情報ネット等の活用により、優良認定処理業者の選定に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　7年　6月　26日

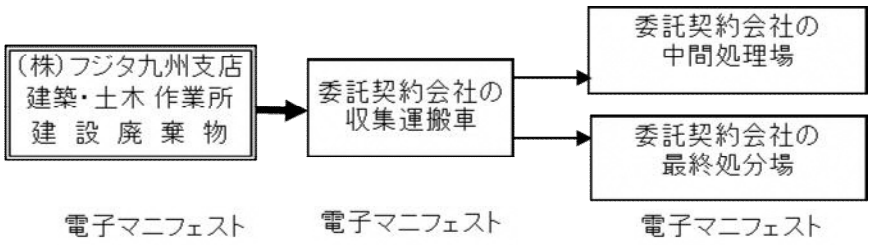
長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　福岡県福岡市中央区舞鶴3-9-39
氏　名　株式会社フジタ　九州支店
支店長　吉村　康男
電話番号　092-281-0664

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社フジタ　九州支店
事業場の所在地	長崎県内の事業場（長崎市、佐世保市除く）
計画期間	令和７年４月１日から令和８年３月３１日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

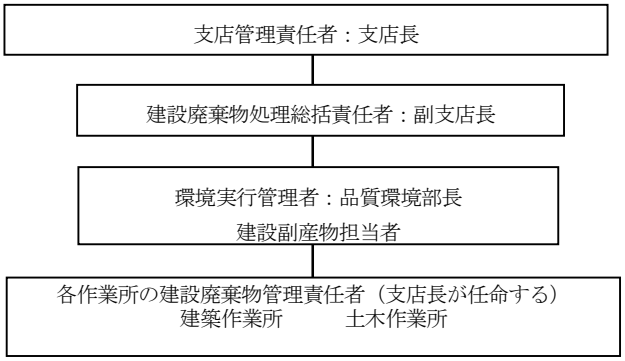
①事業の種類	D.建設業
②事業の規模	元請工事完成高　330億円
③従業員数	350人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列４番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排　　出　　量		
	（これまでに実施した取組） 全品目分別の指導 優良産業者との委託契約		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排　　出　　量		
	（今後実施する予定の取組） 全品目分別の指導 優良産業者との委託契約 広域認定制度の活用		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特定建設資材廃棄物（ｺﾝｸﾘｰﾄ塊、ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ塊、建設発生木材） 金属くず、廃石膏ボード、廃プラスチック
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特定建設資材廃棄物（ｺﾝｸﾘｰﾄ塊、ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ塊、建設発生木材） 金属くず、廃石膏ボード、廃プラスチック 広域認定制度の活用

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（第２面～第５面）別紙

単位：トン（ｔ）

①現状【前年度(令和6年度)実績】 ②計画【目標】		産業廃棄物の種類												排出量合計
		廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	混合廃棄物（管理型含む）						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項														
①現状	排出量	0.32	20.1	1	20.1	3.6	1332.61	14.17						1391.9
②計画	排出量	0.2	14	0.7	14	2.5	900	10						941.4
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項														
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項														
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項														
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項														
①現状	全処理委託量	0.32	20.1	1	20.1	3.6	1332.61	14.17						1391.9
	優良認定処理業者への処理委託量	0.32	20.1	1	20.1	3.6	1332.61	14.17						1391.9
	再生利用業者への処理委託量	0.32	20.1	1	20.1	3.6	1332.61	14.17						1391.9
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0						0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0						0
②計画	全処理委託量	0.2	14	0.7	14	2.5	900	10						941.4
	優良認定処理業者への処理委託量	0.2	14	0.7	14	2.5	900	10						941.4
	再生利用業者への処理委託量	0.2	14	0.7	14	2.5	900	10						941.4
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0						0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0						0